

2010年5月10日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2011年4月30日】

団体名 : 特定非営利活動法人 バイオマス産業機構

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

立川市協働事業 環境教育

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。
地球的規模の温暖化対策は待たなしです。そこで、多摩地域のCO2削減等に向けて、立川市たまがわ・みらいパークで「環境教育・バイオマス陶芸教室」を開催し、地域の人々にバイオマス陶芸を通して環境意識の普及・啓発であります。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。
立川市地域の親子で学べる「バイオマス陶芸教室」を行いました。
① CO2削減学習について・身近なごみ廃棄物の再資源化利活用。
② バイオマス学習について・牛骨廃棄物を1,250℃焼成セラミックス(天然アパタイト)利活用。
③ 土いじりでの陶芸教室について・子どもの平衡・独個等の感性を育む環境教育。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

身近な郷土の武州多摩川粘土等と牛骨セラミックス(天然アパタイト)等を複合した「バイオマス陶芸及び陶板のものづくり」を行う。一方地域のごみ廃棄物の焼却灰でコンクリートを企業連携において作りました。これらは、「花壇、屋上、壁面等のブロック」に試作し、陶板と付帯してCO2削減の緑化事業に寄与するための普及・啓発であり環境教育となりました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

一年を通して、環境教育の一環からバイオマス陶芸・陶板作りを行いました結果、ごみが再資源となることで物の大切さを理解され且つCO2削減のアップサイクルとなりました。陶板は子ども独個の感性にして絵柄と作者名や製作日を入れて素焼き、釉薬、本焼きを行った作品は、立川市の緑化・環境美化に役立つと共に子どもたちの成長に伴う歴史の「陶板記念プレート」として社会貢献になります。夏場には「夏休みの特集・縄文土器」を作りから子どもたちの宿題に大変な評価を頂きました。今後とも更なる継続を致します。

6. 参考資料

